

福井県の淡水魚類

8. コイ科魚類 (Cyprinidae)

加藤文男

コイ科魚類のうち、タナゴ亜科魚類は前報(加藤, 1980)でのべたので本報からは除く。

1. タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus* (Temminck et Schlegel)

a. 形態的特徴 背部は淡青褐色、腹部は灰白色、ひげの長さはひとみの直径よりわずかに長い。肛門は臀鰭基点の直前にある。福井県産のタモロコは、琵琶湖産(中村, 1969)に比べ体高、尾柄高ともにやや低く、体が細長いことから、地方によって形態的変異がみられる。体長78.5~83.5mm、三方湖で獲れた3尾による(表1, 図2A)。

b. 分布 太平洋側では静岡県以西、日本海側では新潟県以西、四国の愛媛、高知の両県、九州の北部に分布する。福井県では、日野川下流域、三方湖、北潟湖、福井市下市町のため池など平野部の河川、湖、池などに分布する(図1a)。

c. 生態 産卵期は4~7月で、川の砂底や水草に産卵する。雑食性で体長約10cmに成長し、産卵期は4~7月である。

2. イトモロコ *Squalidus gracilis* (T. et S.)

a. 形態的特徴 体は淡黄褐色で、側線鱗の後端には輝青褐色(ホルマリン漬標本では暗褐色)の斑点があり、全体として一縦条をなしている。背面に不鮮明な暗色斑がある。肛門は臀鰭基点の直前よりもやや前方に離れて位置する。側線鱗は著しく側扁し、その中央部はくぼむ。口角には、眼径に等しい1対の口ひげがある。体長51.0~53.0mm、北川で獲れた2尾による(表1, 図2B)。

b. 分布 天然の分布は木曽川水系、本州の瀬戸内側と江川以西の日本海側、四国の香川、徳島の両県、築後川を中心とする北九州から長崎県までである。国外では朝鮮半島と中国大陸にも分布する。福井県では、北川と南川で採集されたが(図1a; 安達ら, 1981)，両河川とも天然の分布とは考え難い。小西一夫氏(遠敷郡名田庄村堂本在住)によると、北川でイトモロコが獲れたのは1976年頃からといわれるが、どのような経路で移入したかは不明である。稚魚も相当数採集されたことから、両河川で繁殖しているものと思われる。

c. 生態 川の中流域から下流域にかけて、流れのゆるやかな砂底または砂泥底の場所に生息する。水生昆虫の幼虫、底生の甲殻類を食うほか、付着藻類も食べ体長7cmに達する。産卵期は5~6月である。

3. ムギツク *Pungtungia herzi* Herzenstein

* 福井県立足羽高等学校

a. 形態的特徴 体の背部は暗褐色、腹部は灰白色で、吻端から眼をつらぬいて尾鰭基底に至る青黒色の明瞭な縦条がある。頭部は細く尖り、口唇は側部が著しく肥厚する。体長112mm, 南川で獲れた1尾による(表1,図2C)。

b. 分布 琵琶湖淀川水系の本州、四国(香川、徳島)、九州北部に分布する。福井県では北川と南川に分布し(図1b), 天然の分布と考えられる。したがって、ムギツクの日本海側における分布の東限は、福井県の北川となる(安達ら, 1981)。

c. 生態 河川の中流域の石の多い淀みに生息し、水生昆虫を食う。体長は10~15cmに達し、産卵期は5~6月である。

4. ヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus* (T. et S.)

a. 形態的特徴 体色は淡黄色で、背鰭には黒斑がある。口ひげは2本で、短かい突起状を示す。口には吻の下面にあり、上下両唇を下方に突出できる。肛門は臀鰭起点と腹鰭起点との中央より後位にある。体長103mm, 三方湖で獲れた1尾による(表1,図2D)。なおヒガイは、色彩および形態の変異によって数品種に分けられる(中村, 1969)。

b. 分布 天然の分布は愛知県以西の本州および九州北部の川と湖に分布する。福井県では、日野川、足羽川、三方湖で採集され(図1b), 琵琶湖産稚鮎とともに移入されたものと思われる。河川での繁殖は不明である。

c. 生態 川の中流域から下流上部、湖、池に生息し、底生、付着性の小動物(ユスリカ、トビケラなど)を食う。体長10~15cmに達し、産卵期は4~6月である。雌には産卵管があり、二枚貝(ドブガイ、カラスガイなど)の外套膜に産卵する。

5. ニゴイ *Hemibarbus barbus* (T. et S.)

a. 形態的特徴 体色灰褐色、体側の鱗の輪郭が網目状を形成する。背鰭第3棘は強大で、側線鱗数48、鰓耙数11、体長305~315mm、九頭竜川支流日野川で獲れた2尾による(表1,図2E)。

b. 分布 北海道を除く日本の全土に分布する。福井県では九頭竜川水系に生息するが、北川、南川など嶺南の河川には生息せず、分布空白地となっている(図1b)。

c. 生態 河川の中・下流域に生息し、水生昆虫や貝類など底生動物を食う。体長45cmに達し産卵期は5~6月である。

6. カマツカ *Pseudogobio esocinus* (T. et S.)

a. 形態的特徴 口は下面にあって、口唇には乳頭状小突起が密生する。背側は淡黄褐色、側線にそって暗褐色斑があり、背鰭と尾鰭の各軟条にも、小褐色点が数多くみられる。体長130~165mm、日野川で獲れた3尾による(表1,図2F)。

b. 分布 日本(北海道、青森県を除くほとんど全土)、朝鮮および満州南部に分布する。福井県では九頭竜川水系、北川、南川など多くの河川に分布する(図1b)。

c. 生態 河川の中流域、下流域上部の砂底または砂礫底の場所に生息し、底生の小動物を食う。

体長20cmに成長し、産卵期は5～6月である。

7. モツゴ *Pseudorasbora parva* (T . et S .)

a. 形態的特徴 体は淡灰褐色、背側はやや暗色である。側線は完全、口ひげはない。口は吻端にあって小さく、下顎は上顎より突出する。体長83.2mm～105.0mm、三方湖で獲れた5尾による（表1,図2G）。

b. 分布 日本では関東以西の本州、四国、九州に分布し、国外では朝鮮、台湾および沿海州から華南までのアジア大陸東部一帯に分布する。福井県では三方湖、北潟湖、福井城址の堀などに分布する（図1b）。

c. 生態 湖や池、細流に生息し、雑食性で藻類や小動物を食う。体長約10cmに成長し、4～8月が産卵期である。

8. ウグイ *Tribolodon hakonensis* (G ünther)

a. 形態的特徴 背面は暗青緑色、腹面に至るに従って銀白色を呈する。頭部の側線感覚器官のうち、鰓蓋下顎管の後端と眼下管の後端とは連続しない。婚姻色は雌雄とともに3列の朱赤色の縦条が出現する。体長213～295mm、日野川と三方湖で獲れた3尾による（表1,図2H）。

b. 分布 北海道、本州、四国、九州各地の湖沼、河川の上流～下流まで広く分布する。福井県のほとんどの河川、湖沼に生息する。

c. 生態 淡水型と降海型がある。雑食性で水生昆虫、付着藻類を食べる。体長30cmに達し、産卵期は4～5月である。

9. アブラハヤ *Moroco steindachneri* (Sauvage)

a. 形態的特徴 体の背面は黄褐色で、暗色斑点は体側中央の黒帶付近に多い。タカハヤに比べ、体高と尾柄高が低く、上部横列鱗数がやや多い。体長79.5～91mm、九頭竜川で獲れた4尾による（表1,図2I）。

b. 分布 琵琶湖、淀川水系以東、以北に分布する。福井県では笙ノ川以北に分布し、笙ノ川が日本海側における南限と思われる（図1c）。

c. 生態 川の上流から中流上部にかけて生息する。タカハヤより下流に分布し、すみ分けている。雑食性で水生昆虫や付着藻類を食し、体長約10cmに成長する。産卵期は4～7月である。

10. タカハヤ *Moroco jouyi* (Jordan et Snyder)

a. 形態的特徴 体の背面は黄褐色、体側の暗色斑点は背中線および腹中線まで及ぶ。体側中央部に暗色の縦条がある（不明瞭な場合もある）。アブラハヤに比べ、体高と尾柄高が高く、上部横列鱗数はやや少ない。体長62.0～108.7mm、日野川と河野川で獲れた4尾による（表1,図2J）。

b. 分布 本州中部以西、四国、九州に分布する。福井県ではほとんどの河川の上流に多く生息する（図1c）。

c. 生態 山地の溪流の淀みに生息し、アブラハヤより上流に分布する。雑食性で、体長約10cmに成長し、産卵期は4～7月である。

11. カワムツ *Zacco temminckii* (T . et S .)

a. 形態的特徴 背面は褐色、腹側は白色、体側中央を縦走する暗赤色の太い縦帯がある。体長128mm, 日野川で獲れた1尾による(表1,図2K)。

b. 分布 中部地方以西の本州、四国、九州に分布する。国外では朝鮮、中国、台湾の河川に分布する。福井県では、九頭竜川支流日野川、笙ノ川、耳川、北川、南川、佐分利川、三方湖などに生息する(図1d)。

c. 生態 河川の中・上流域に生息する。雑食性で、藻類や水生昆虫を食し、体長約15cmに成長する。産卵期は5～8月である。

12. オイカワ *Zacco platypus* (T . et S .)

a. 形態的特徴 側線は完全で、体側の中央よりも腹方にかたよる。特に臀鰭条が長い。体側にやや不明瞭で赤味をおびた数条の横帯がある。産卵期の雄は、頭部、体側などに追星を生じ、青緑紅、黄褐色を混えた鮮やかな婚姻色を示す。体長102～129.2mm, 三方湖、日野川で獲れた4尾による(表1,図2L)。

b. 分布 日本では関東以南、以西の本州、四国(太平洋側は移植)，九州に分布する。福井県では、もともとオイカワの生息はなかったが、琵琶湖産稚鮎に伴って移植され、繁殖している。九頭竜川水系、北川、南川、北潟湖、三方湖など県下のほとんどの河川、湖沼に広く分布する(図1d)。

c. 生態 中流域に生息し、雑食性で体長13cm位に成長する。産卵期は5～8月である。

13. ハス *Opsariichthys uncirostris* (T . et S .)

a. 形態的特徴 背面は緑褐色で、体側は銀白色、口の形が特異的で、両顎は「へ」の字状に曲る。側線は完全で下方に湾曲する。側線鱗数は45～48で、琵琶湖産のハスの50～59(中村、1969)より少ない。体長148～194mm, 三方湖で獲れた5尾による(表1,図2M)。近似種のコウライハス *O. bimaculatus* Güntherの側線鱗数は46～49(内田、1939)で、三方湖産のハスと類似している。

b. 分布 琵琶湖淀川水系と福井県三方湖が原産地である。福井県では三方湖の他に、九頭竜川(加藤、1980)と北潟湖でも採集された(1982年)が、三方湖以外は移入魚と考えられる(図1d)。近似種のコウライハスは、アジア大陸の温帶部に生息している。

c. 生態 湖沼に生息し、5～7月には注入河川へ溯上し産卵する。魚類やエビを食べ、体長約25cmに成長する。

14. ワタカ *Ischikauia steenackeri* (Sauvage)

a. 形態的特徴 側線は完全で、側線鱗数は64～67、腹鰭と臀鰭との間の腹面が側扁して、隆起線をなしている。体長245～248mm, 九頭竜川支流日野川で獲れた2尾による(表1,図2N)。

b. 分布 日本特産で、琵琶湖淀川水系が天然の分布域である。福井県では日野川（武生市、福井市）での採集記録があるが（図1 d；加藤、1980），琵琶湖産稚鮎とともに移入されたものと思う。

c. 生態 琵琶湖では沿岸に生息し、雑食性で水草、水生昆虫、貝類などを食べる。体長約25cmに成長し、産卵期は6～7月である。

15. フナ *Carassius auratus* (Linne)

(1) 裏日本型ギンブナ *Carassius auratus langsdorffii* T. et S.

a. 形態的特徴 体色は黄褐色で、体高は表日本型ギンブナ（後述）よりやや低い（体高比、2.70～3.06）。背鰭Ⅲ棘14～17軟条、鰓耙数40～73、眼は頭部側面の中央よりやや上方に位置する。体長145～220mm、九頭竜川支流日野川（武生）で獲れた7尾による（表1,図2P）。

b. 分布 北海道と東北地方から中部地方までの日本海側に面した地方に多く生息する（小林、1978）。福井県では、各地の河川、湖沼に広く分布し、生息数も多い（図1 e）。本県における地ブナで、その染色体数は小林（1980）により2n（雌・雄）、3n（雄）が報告されている。

c. 生態 河川や湖沼に生息し、雑食性で体長約20cmに成長する。産卵期は4～6月である。

(2) 表日本型ギンブナ *Carassius auratus langsdorffii* T. et S.

a. 形態的特徴 背部は黒褐色、腹部に移るに従って銀白色をおびる。体高がやや高く（体高比2.48～2.63）、背鰭条数Ⅲ棘15～16軟条、鰓耙数46～54、眼は頭部側面の中央よりもやや上方に位置する。体長190～214mm、北潟湖で獲れた2尾による（表1,図2Q）。

b. 分布 表日本地域に分布する（小林、1980）。福井県では北潟湖、福井城址の堀、三方湖で採集され、数は少ない（図1 e）。天然の分布か、移植によるものか不明であるが、後者による人為的なものかも知れない。

c. 生態 湖沼や池にみられ、雑食性で体長30cmに成長する。産卵期は4～6月である。

(3) ゲンゴロウブナ *Carassius auratus cuvieri* T. et S.

a. 形態的特徴 体は灰褐色で銀色の光沢を有し、腹面は銀白色である。体高が高く（体高比、2.25～2.57）、鰓耙は細長く数が多い（106～107）。眼は頭部側面の中央付近にある。体長160～195mm、九頭竜川支流日野川（武生）で獲れた3尾による（表1,図2R）。

b. 分布 琵琶湖淀川水系の特産であるが、現在はほぼ日本全土に移殖された（図1 e）。

c. 生態 主に植物プランクトン、付着藻類を食う。大型のフナで、体長約40cmに成長する。産卵期は4～7月である。

備考 フナ属魚類については、変異が著しく、分類の困難な魚種の1つである。福井県に分布するフナについては、一応上記2亜種1型に分類した。ギンブナの区分については、小林（1978, 1980）に従った。裏日本型ギンブナは、表日本型ギンブナに比べ、体高がやや低く、体色が黄褐

色を示す点で異なる。なお、前記裏日本型ギンブナは、諏訪湖地方に生息するナガブナ（中村, 1975）に類似する。宮地ら（1976）の検索によると、ナガブナも裏日本型ギンブナもキンブナ *C. c. buergerii* に含められるようであり、今後の詳細な研究に待ちたい。

16. コイ *Cyprinus carpio* Linne

a. 形態的特徴 体は黒褐色を呈し、銀白色をおびる。養殖ゴイ（ヤマトゴイ）に比べ、野生品種（マゴイ）は体高が低く、体幅が厚い。口ひげは2対で1対は長く、1対は短かい。体長120.8～375.0 mm、日野川と三方湖で獲れた3尾による（表1、図20）。

b. 分布 アジア、ヨーロッパの温帯部に広く分布する。日本ではほぼ全土に分布し、福井県の各河川、湖沼に広く生息する。

c. 生態 河川の中・下流域や湖沼に生息し、底生動物（特に貝類を好む）や付着藻類を食べる。体長約40cmに成長し、産卵期は5～7月である。

引 用 文 献

- 安達誘・前田正紀・加藤文男 1981. 北川および南川の陸水生物. 福井陸水生物会報第2号.
- 加藤文男 1980. 九頭竜川水系で採集された移植魚. 武高評論 11号.
- 小林弘 1978. フナの分類とギンブナにみられる雌原発生の細胞遺伝学的検討. 遺伝, 32(7): 28～38, figs. 1～5,
- 小林弘 1980. 倍数体フナとシマドジョウの日本における分布について. 動物と自然10(13).
- 中村守純 1969. 日本のコイ科魚類. 資源科学研究所.
- 中村守純 1975. 原色淡水魚類検索図鑑. 図鑑の北隆館.
- 宮地伝三郎・川那部浩哉・水野信彦 1976. 保育社.
- 関谷伸一・本間義治 1977. 新潟県のフナ属魚類. 新潟の自然, 第3集.
- 内田恵太郎 1939. 朝鮮魚類誌

福井県の淡水魚類

福井県におけるコイ科魚類の分布
(タナゴ亜科魚類を除く)

図1 a ○ タモロコ
● イトモロコ

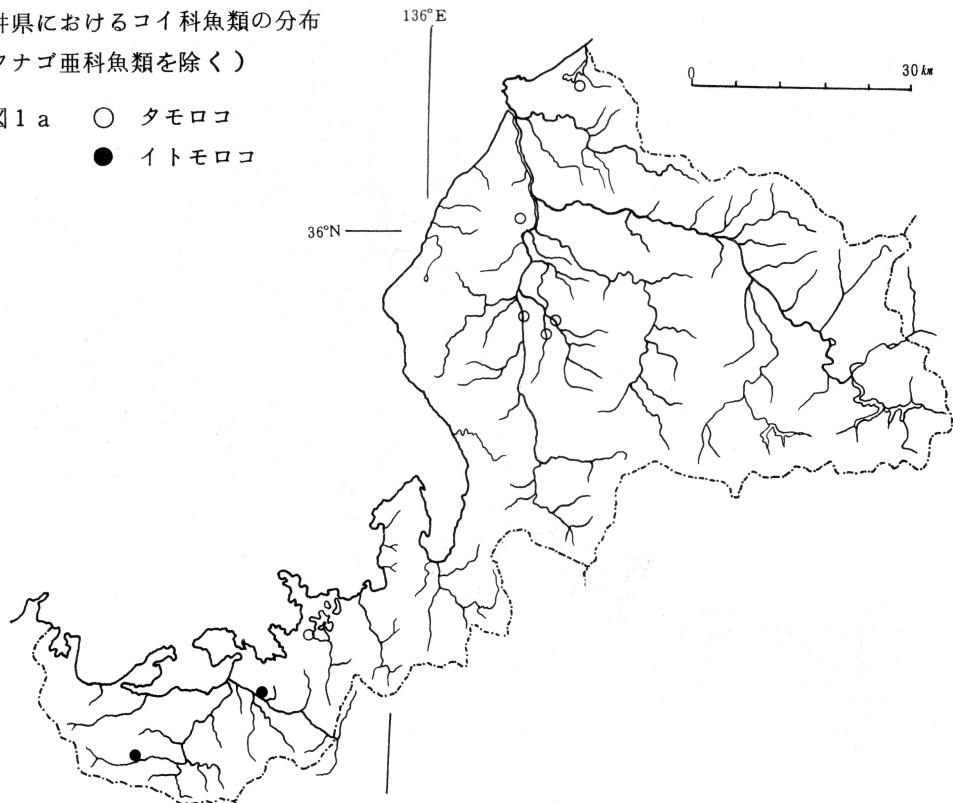


図1 b ○ ムギツク
● ヒガイ
△ ニゴイ
▲ カマツカ
□ モツゴ

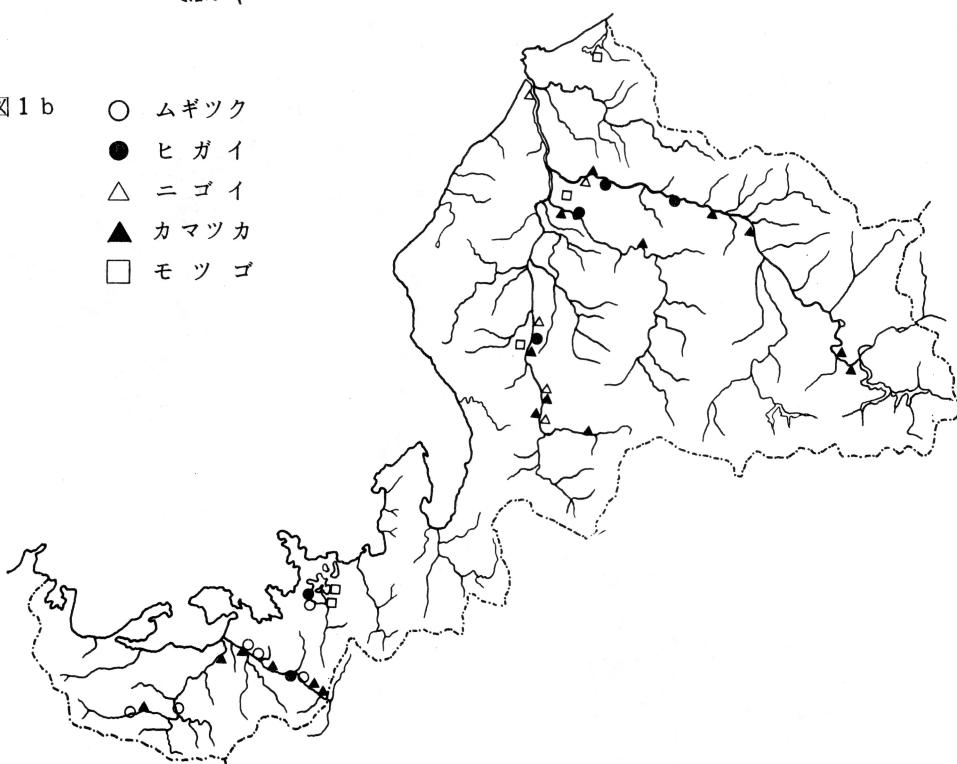
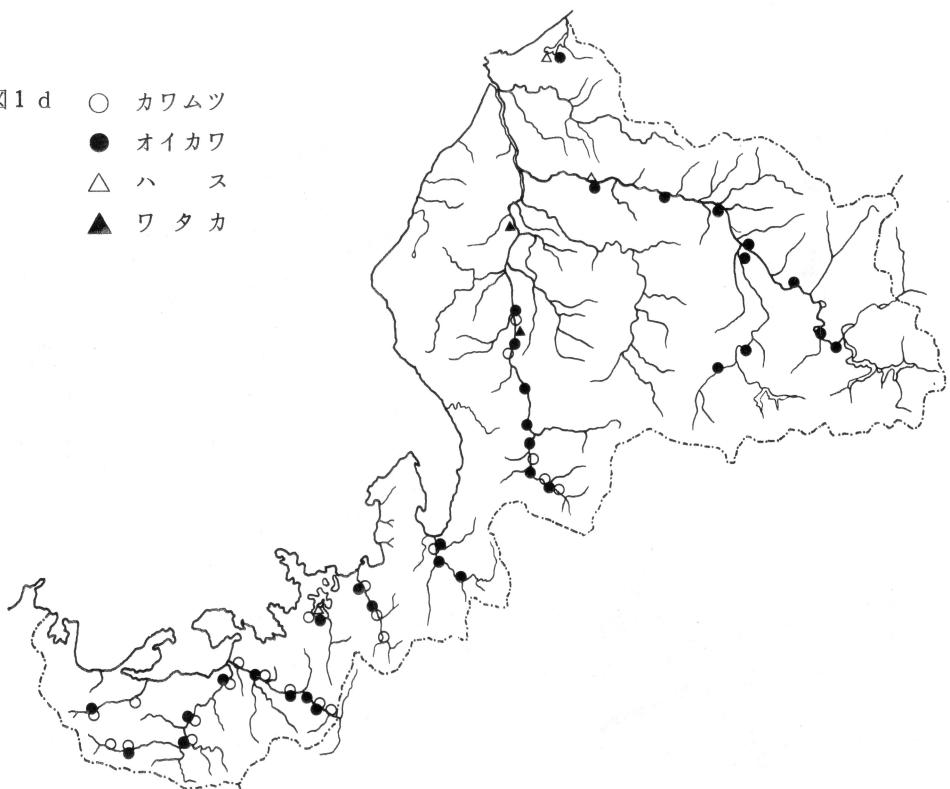


図 1 c ○ アブラハヤ
● タカハヤ



図 1 d ○ カワムツ
● オイカワ
△ ハス
▲ ワタカ



福井県の淡水魚類

- 図 1 e
- 裏日本型ギンブナ
 - 表日本型ギンブナ
 - △ ゲンゴロウブナ

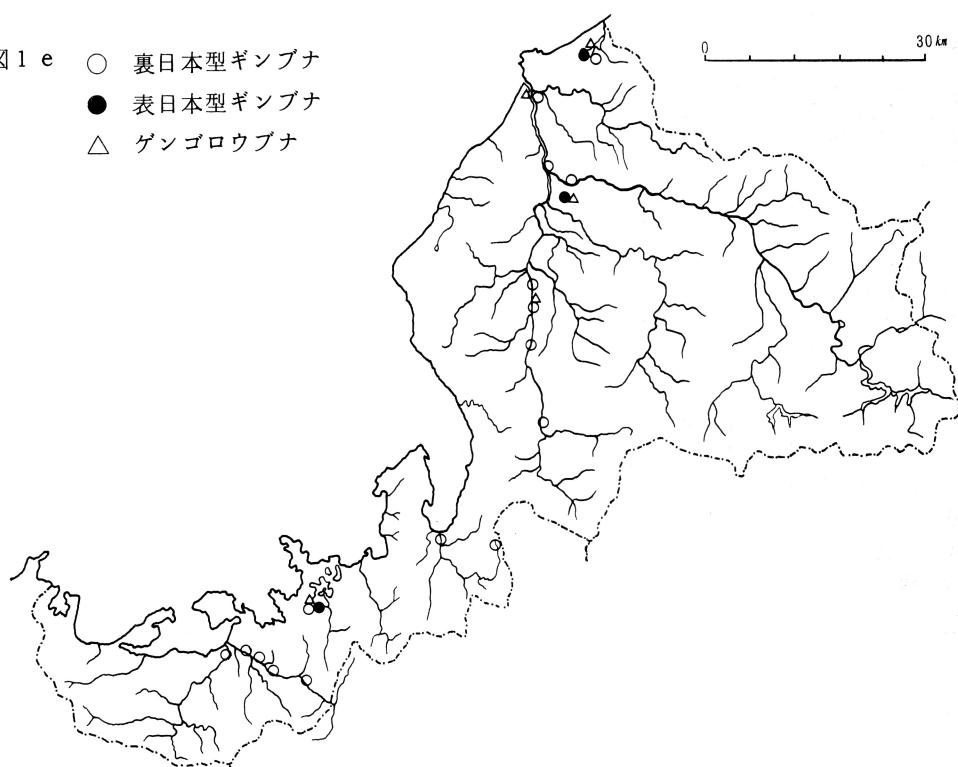


表1 魚の計測値

魚種	タモロコ	イトモロコ	ムギツク	ヒガイ	ニゴイ
標本数	3	2	1	1	2
全長(mm)	94.2 ~ 101.0	62.0 ~ 62.5	130	121.5	380 ~ 385
標準体長	78.5 ~ 83.5	51.0 ~ 53.0	112	103	305 ~ 315
体長/頭長	3.69 ~ 4.18	3.64 ~ 4.08	3.92	4.20	3.24 ~ 3.43
体長/体高	4.03 ~ 4.59	4.24 ~ 4.43	4.48	3.96	5.08 ~ 5.22
体長/尾柄高	8.26 ~ 8.61				
尾柄長/尾柄高	1.79 ~ 1.86				
頭長/吻長	3.58 ~ 3.75	3.25 ~ 2.78	2.60	2.99	2.46 ~ 2.72
頭長/眼径	3.90 ~ 4.26	2.60 ~ 3.11	4.77	3.95	5.93 ~ 5.96
頭長/眼間距離	3.07 ~ 3.25	2.24 ~ 2.55	2.38	2.88	2.56 ~ 3.40
背鰭条数	III・8	III・7	III・7	III・7	III・7
臀鰭条数	III・7	III・6	III・5	III・6	III・6
胸鰭条数	13 ~ 14	15	15	15	16 ~ 18
腹鰭条数	8	8	8	8	9
鰓耙数	10 ~ 13	5 ~ 6	7	6	11
側線鱗数	37 ~ 38	33 ~ 35	39	42	48
横列鱗数	6 / 5	4 / 3	6 / 5	6 / 5	7 ~ 8 / 6
採集地	三方湖	北川	南川	三方湖	日野川 (武生)
採集月日	1965.11.4	1979.9.14	1965.8.9	1965.5.12	1979.9.23

魚種	カマツカ	モツゴ	ウグイ	アブラハヤ	タカラヤ
標本数	3	5	3	4	4
全長(mm)	157 ~ 197	101 ~ 124	250 ~ 353	95.5 ~ 109	76.0 ~ 128.2
標準体長	130 ~ 165	83.2 ~ 105.0	213 ~ 295	79.5 ~ 91	62.0 ~ 108.7
体長/頭長	3.33 ~ 3.55	4.07 ~ 4.57	3.67 ~ 4.10	3.61 ~ 4.00	3.64 ~ 3.95
体長/体高	5.65 ~ 5.85	3.66 ~ 3.93	4.53 ~ 4.98	5.06 ~ 5.87	4.26 ~ 4.93
頭長/吻長	1.90 ~ 2.05	3.07 ~ 3.73	3.36 ~ 5.27	3.36 ~ 3.67	2.83 ~ 3.08
頭長/眼径	5.28 ~ 5.50	3.65 ~ 4.25	5.52 ~ 5.90	3.67 ~ 5.24	4.34 ~ 5.54
頭長/眼間距離		2.15 ~ 2.56	3.07 ~ 3.24	2.68 ~ 3.00	2.31 ~ 3.10
頭長/尾柄高				2.20 ~ 2.63	1.86 ~ 2.10
背鰭条数	III・7	III・8	III・7	III・7	III・7
臀鰭条数	III・6	III・6	III・8	III・7	III・7
胸鰭条数	14 ~ 15	14	16	14 ~ 16	14 ~ 15
腹鰭条数	7 ~ 8	8	9	8	8
鰓耙数	13 ~ 14		12 ~ 14	7	6 ~ 8
側線鱗数	40 ~ 41	35 ~ 37	74 ~ 80	73 ~ 77	65 ~ 81
横列鱗数	5 ~ 6 / 4	5 ~ 6 / 4	16 ~ 18 / 11 ~ 13	18 ~ 23 / 10 ~ 11	15 ~ 16 / 9 ~ 12
採集地	日野川 (武生)	三方湖 1965.11.4	日野川 (武生) '73.8.14	三方湖 '66.11.4	九頭竜川 (大野) '79.8.4 ~ 18
採集月日	1968.9.16				日野川 河和田川 上流 '70.7.30 '65.5.17

福井県の淡水漁類

魚種	カワムツ	オイカワ	ハス	ワタカ	裏日本型ギンブナ
標本数	1	4	5	2	7
全長(mm)	159	120.5 ~ 157.0	182 ~ 232	298 ~ 305	185 ~ 265
標準体長	128	102.0 ~ 129.2	148 ~ 194	245 ~ 248	145 ~ 220
体長/頭長	3.66	4.00 ~ 4.09	3.30 ~ 3.46	4.54 ~ 4.91	3.27 ~ 3.81
体長/体高	4.00	3.59 ~ 3.92	4.39 ~ 4.81	3.77 ~ 4.37	2.70 ~ 3.06
頭長/吻長	3.10	3.22 ~ 3.73	3.29 ~ 3.46	4.00 ~ 4.39	3.78 ~ 5.10
頭長/眼径	4.86	4.05 ~ 4.57	4.89 ~ 5.49	3.88 ~ 4.50	4.19 ~ 4.68
頭長/眼間距離	2.63	2.87 ~ 3.40	3.27 ~ 3.90	2.84 ~ 2.89	2.41 ~ 2.71
頭長/尾柄高					
背鰭条数	III・7	III・7	III・7	III・7	III・14~17
臀鰭条数	III・10	III・9	III・8~9	III・13	III・5~6
胸鰭条数	14	15	14	14~16	15~17
腹鰭条数	9	9	8~9	9	9
鰓耙数	10	12~14	11~13	13~14	40~73
側線鱗数	49	44~48	45~48	64~67	30
横列鱗数	11/4	8~9/3~4	11~12/5	13/5~6	6/5
採集地	日野川 · (今庄)	三方湖 '65.11.4	日野川 (武生) '67.3.21	三方湖 1960.8.25	日野川 (武生) '73.8.14 '78.9.2
採集月日	1975.1.26				

魚種	表日本型ギンブナ	ゲンゴロウブナ	コイ
標本数	2	3	3
全長(mm)	240 ~ 268	205 ~ 250	151.5 ~ 460
標準体長	190 ~ 214	160 ~ 195	120.8 ~ 375
体長/頭長	2.90 ~ 3.22	3.25 ~ 3.47	3.06 ~ 3.81
体長/体高	2.48 ~ 2.63	2.25 ~ 2.57	3.08 ~ 3.99
頭長/吻長	4.03 ~ 4.37	3.92 ~ 5.36	2.82 ~ 3.11
頭長/眼径	5.04 ~ 5.12	4.09 ~ 4.80	5.06 ~ 6.25
頭長/眼間距離	2.44 ~ 2.50	2.22 ~ 2.40	2.59 ~ 2.66
頭長/尾柄高			
背鰭条数	III・15~16	III・16~19	III・19~21
臀鰭条数	III・5~6	III・5	III・5
胸鰭条数	15	17	16~17
腹鰭条数	9	9~10	9
鰓耙数	46~54	106~107	17
側線鱗数	29~30	30	34~36
横列鱗数	6/5	6/5	6/5
採集地	北潟湖	日野川 (武生) 1973.8.14	三方湖 '65.10.13
採集月日	1982.8.29		'73.8.14

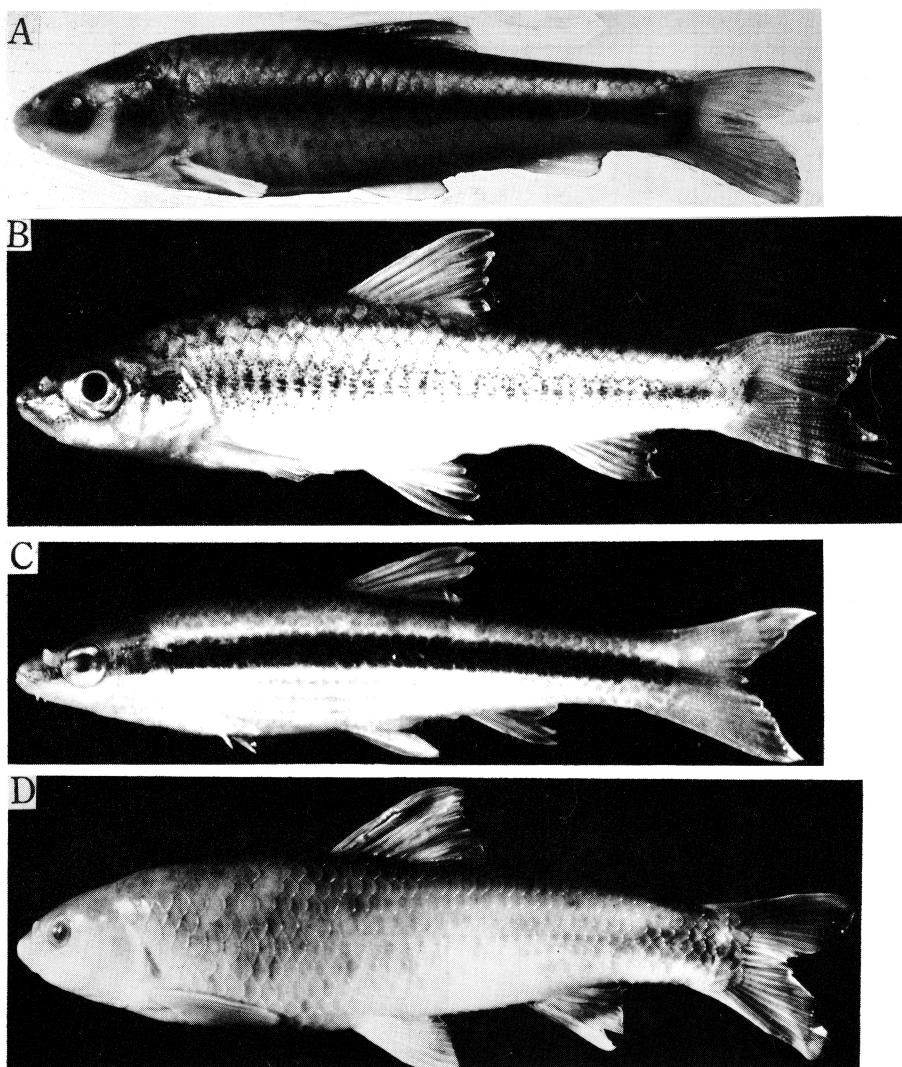
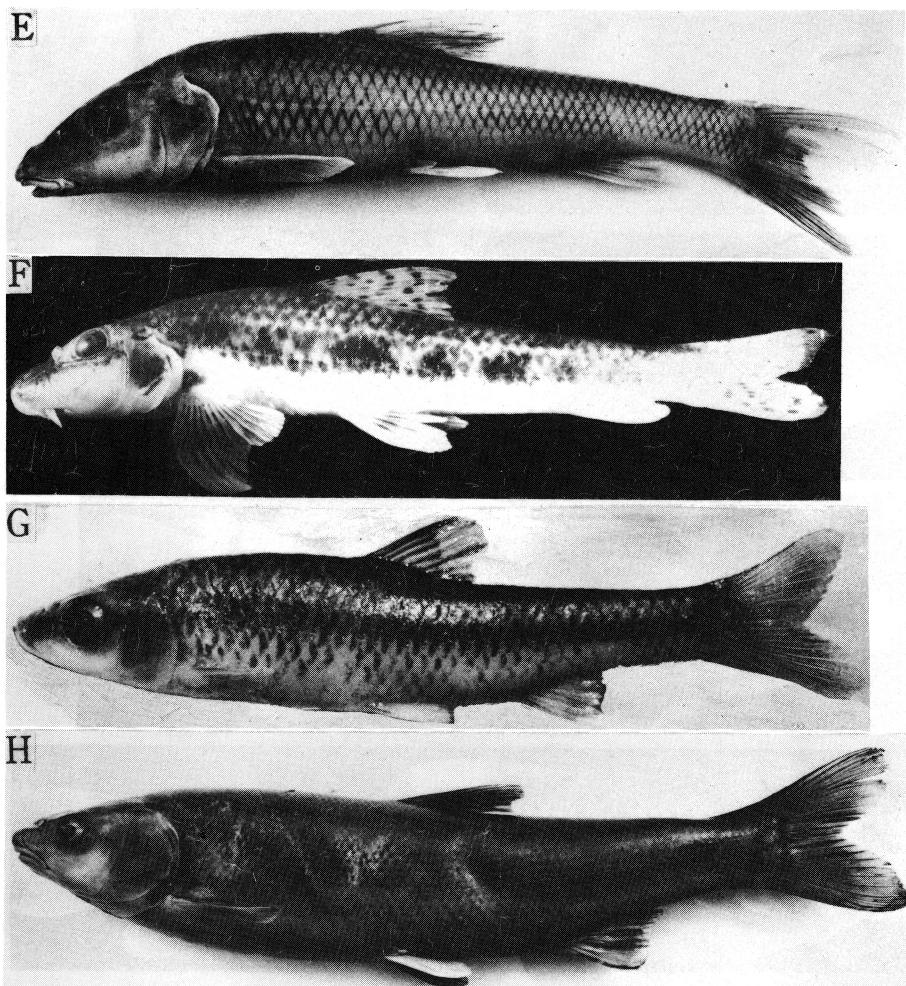


図2 福井県に分布するコイ科魚類(タナゴ亜科魚類を除く)

- A. タモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus*
標準体長71mm, 1981年7月27日採集, 浅水川(下河端町)
- B. イトモロコ *Squalidus gracilis*
標準体長52.5mm, 1979年9月14日採集, 北川(小浜市高塚町)
- C. ムギツク *Pungtungia herzi*
標準体長39.0mm, 1979年9月14日採集, 北川(小浜市高塚町)
- D. ヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus*
標準体長103mm, 1965年5月12日採集, 三方湖



E. ニゴイ *Hemibarbus barbus*

標準体長 240 mm, 1978年 8月31日採集, 日野川(武生市八幡)

F. カマツカ *Pseudogobio esocinus*

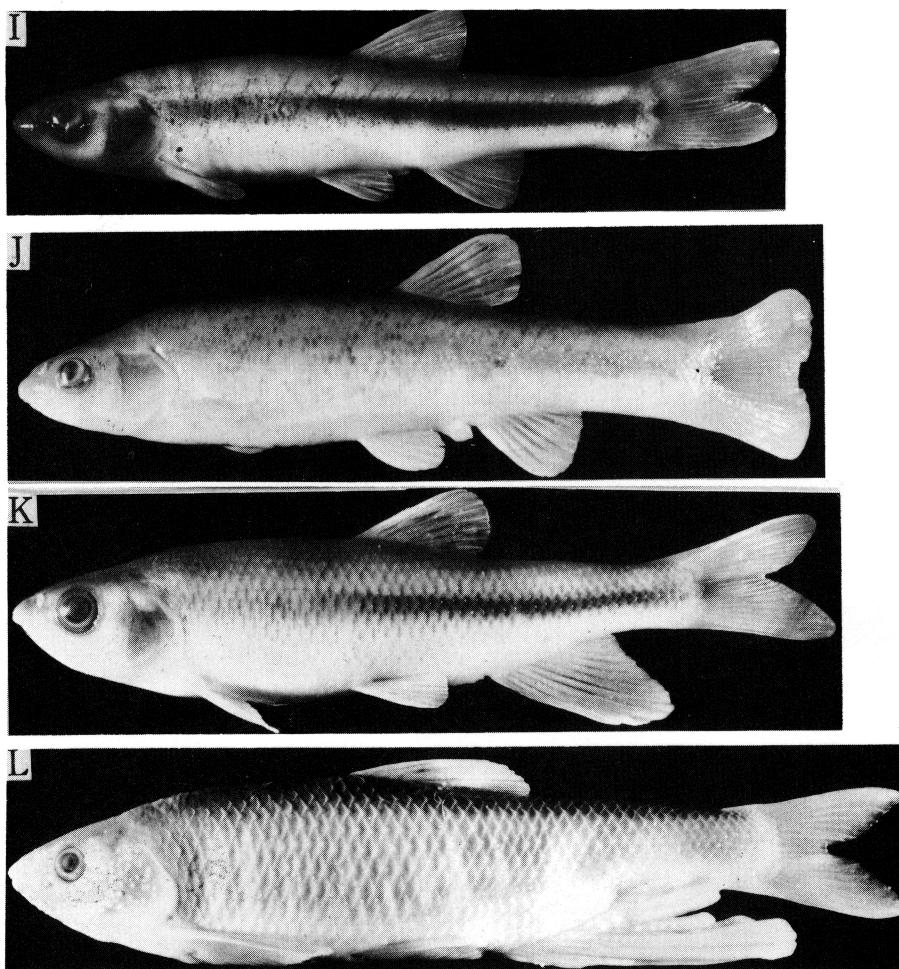
標準体長 112.5 mm, 1979年 8月22日採集, 北川

G. モツゴ *Pseudorasbora parva*

標準体長 54 mm, 1982年 7月16日, 福井城址の堀

H. ウグイ *Tribolodon hakonensis*

標準体長 295 mm, 1973年 8月14日, 日野川(武生市八幡)



I. アブラハヤ *Morco steindachneri*

標準体長 77.6 mm, 1979年8月20日採集, 九頭竜川(大野市)

J. タカハヤ *Morco jouyi*

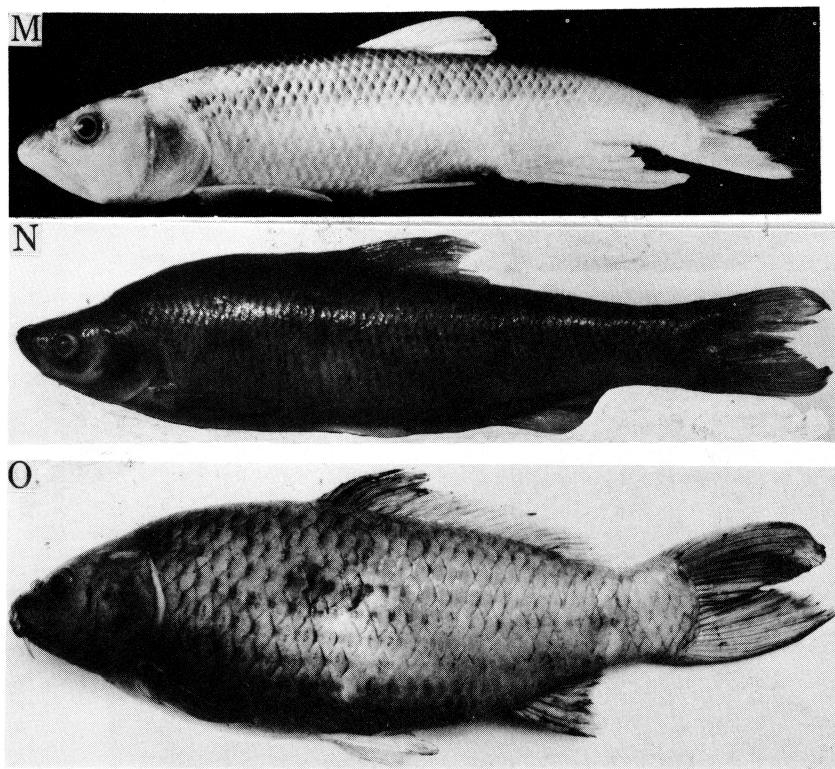
標準体長 75 mm, 1970年7月30日採集, 日野川(二ツ屋)

K. カワムツ *Zacco temminckii*

標準体長 87.2 mm, 1979年8月22日採集, 北川

L. オイカワ *Zacco platypus*

標準体長 125 mm, 1965年11月4日採集, 三方湖



M. ハス *Opsariichthys uncirostris*

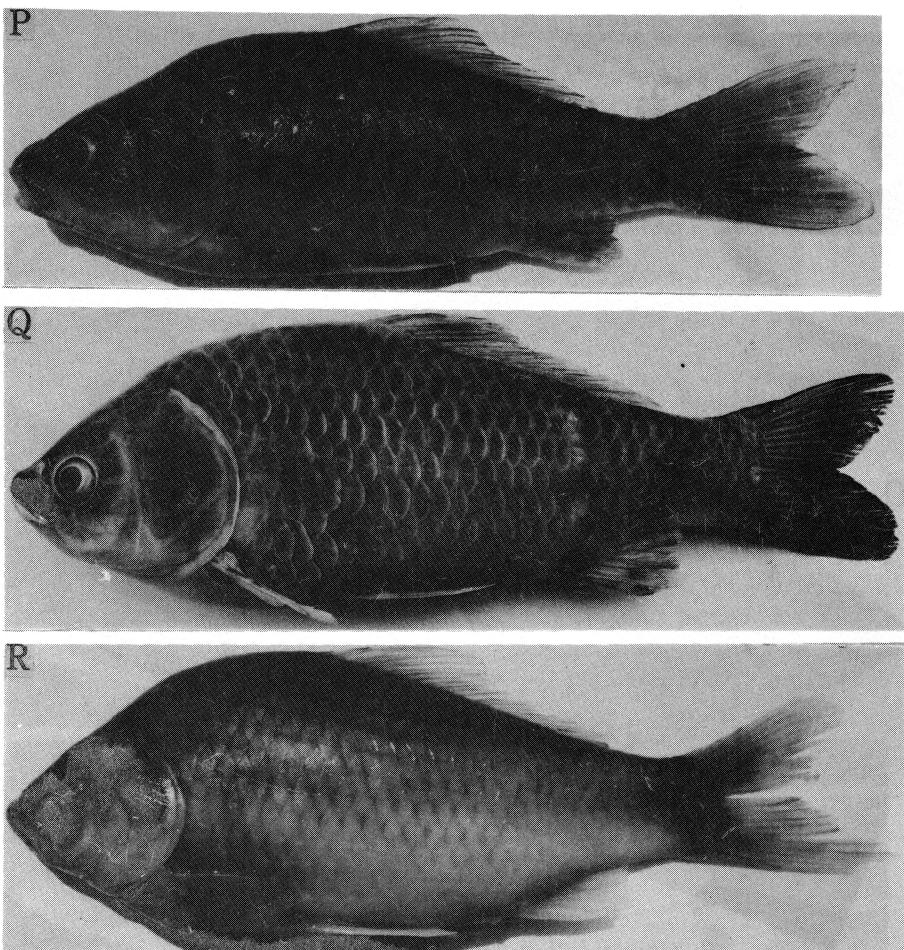
標準体長 195 mm, 1960年8月25日採集, 三方湖

N. ワタカ *Ishikauia steenackeri*

標準体長 245 mm, 1978年9月2日採集, 日野川(武生市八幡)

O. コイ *Cyprinus carpio*

標準体長 300 mm, 1981年6月, 浅水川(福井市)



P. 裏日本型ギンブナ *Carassius auratus langsdorffii*

標準体長 150 mm, 1978年 8月30日採集, 日野川(武生)

Q. 表日本型ギンブナ *Carassius auratus langsdorffii*

標準体長 215 mm, 1982年 8月29日採集, 北潟湖

R. ゲンゴロウブナ *Carassius auratus cuvieri*

標準体長 148 mm, 1978年 9月 2日採集, 日野川(武生)